

基礎ゼミナール(基礎ゼミナールI)

2単位 (必修) 1年 (前期)

吉田 敦也・教授 / 社会創生学科

【授業目的】地頭(デアタマ)の良い人間になる。

【授業概要】最近の企業の採用現場では「採用するなら”地頭が良い”学生がいい」とよく言われる。大学での学習や研究への取り組みにおいても同じである。そもそも「頭が良い」とは、単に、試験で高得点とれる、というふうなことではなく、物知り、機転が利く、地頭が良い、などのレイヤーから成る一種のプロフィールである。そして、その地頭力とは、知的好奇心、論理的思考力、直感力からなり、①結論から考える”仮設思考力”，②全体から考える”フレームワーク思考力”，③単純に考える”抽象化思考力”，を正しく身につけることによって鍛えることができる。本基礎ゼミでは、『ICT活用による社会創生、地域貢献の課題解決』をテーマに、その実習作業を通じて「地頭力」の高い人間になることをめざす。

【キーワード】地頭力、仮設思考力、フレームワーク思考力、抽象化思考力、フェルミ推定、社会創生、地域貢献、課題解決、キー・コンピテンシー、テクノロジー活用力、交流/協働する、汗を流す、笑う

【履修上の注意】iPhone/iPadなどスマートメディアによるサイバーネットワーク型の授業や演習を行う。そのため、メール、ブログ、ツイッター、facebookなどを利用/演習する。地域課題解決事業の協働作業にも参加する。そのため、まち、村、中山間地域などへ出かけていき、地域の住民や高齢者などと交流する。汗を流し、ガハハと笑って、学習する。

【到達目標】

1. 地頭力の理解と基礎形成
2. スマートメディアのクラウド型利用による地頭力の拡大
3. 地域課題解決実習による地頭力の発揮

【授業計画】

1. 導入(授業の計画、自己紹介、グルーピングなど)(第1週)
2. ネット環境の構築(iPad/iPodTouchの設定/活用法など)(第2週)
3. 基礎学習(地頭力についての講義とディスカッション)(第3週)
4. グループワーク(課題設定、研究/調査、経過報告)(第4週～第6週)
5. 成果発表(プレゼン、ディスカッション、評価)(第7週)

【成績評価】授業への取り組み状況、レポート、発表などを総合的に評価する。

【再試験】無し

【教科書】細谷功著「地頭力を鍛えるー問題解決に活かす「フェルミ推定」」, 東洋経済新報社(1680円)

【参考書】小山龍介「クラウド HACKS!」, 東洋経済新報社(1500円)

【WEB 頁】<http://ct.ias.tokushima-u.ac.jp/>

【授業コンテンツ】<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218507>

【連絡先】

⇒ 吉田 (088-656-7897, yos@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 24時間(yos@ias.tokushima-u.ac.jp))